

山形県特別功労賞の贈呈式について

このたび、山形県特別功労賞として、下記のとおり表彰しますので、お知らせします。

1 受賞者 なかのめ ちゆき
中目 千之 氏 (医師) (77歳)

2 贈呈式

- (1) 日時 令和6年11月19日(火) 15:00～15:25
(2) 会場 県庁5階 貴賓室及び知事室
(3) 内容 知事から表彰状を贈呈後、懇談

3 受賞者の功績概要 別紙のとおり

4 山形県特別功労賞の概要

(1) 山形県特別功労賞について

特定の分野における顕著な功績にとどまらず、幅広い分野において県勢全般の発展に多大な功労がある方について、それらの功績を包括的に表彰するもの。

(2) これまでの受賞者(5名)

- 平成16年11月：株式会社 平田牧場代表取締役会長 新田 嘉一 氏
山形大学人文学部教授 大川 健嗣 氏
- 平成29年11月：慶応義塾大学先端生命科学研究所所長 富田 勝 氏
- 令和2年3月：山形県立山形中央高等学校 教諭 椿 央 氏
- 令和4年11月：民謡歌手 大塚 文雄 氏

※役職等は受賞当時のもの

【お問合せ先】

総務部秘書課 課長補佐 高橋
(TEL023-630-2894)

【報道監】 総務部次長 伊藤

「山形県特別功労賞」受賞者の功績概要

○受賞者 なかのめ ちゆき
 中目 千之 氏 (医師) (77歳)

○主な功績

1 山形県医師会役員等としての功績

円滑な医療提供体制の構築や医療的ケア児者に係る在宅医療体制の整備、医師の県内定着・確保など、地域医療の推進に大きく貢献した。

2 新型コロナウイルス感染症に係る功績

【感染拡大防止対策に関する功績】

緊急事態宣言の発出や学校、企業等に対する活動自粛要請などの感染拡大防止対策の推進をはじめ、県民や事業者に対する感染防止の意識啓発や新型コロナワクチン接種体制の構築等に貢献した。

【医療提供体制の構築に関する功績】

県及び山形大学医学部との緊密な連携と協働による活動を推進し、医療提供体制を確保するとともに、保健所の負担軽減に向けた協力医の確保・拡充や新型コロナ後遺症への対応力の向上や診療可能な医療機関の拡充に貢献した。

【県民生活・県内経済に関する功績】

県独自の注意・警戒レベルの運用や新しい生活様式の定着促進などに関する助言や提言を行い、地域経済回復に向けた感染対策と社会経済活動の両立の推進に大きく貢献した。